

洞爺湖町議会令和6年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
7番 大屋 治	1 災害に強い町づくりを目指して	(1)防災DXとAIで災害対策とさらなる防災力の高みを ①虻田地区(噴火・津波)洞爺湖温泉地区(噴火)の高齢者の独り暮らし世帯数と要支援者数を伺う。 ②防災ドローンの検討を伺う。 ③自治会の防災組織の数、避難訓練状況を伺う。 ④津波対策を盛り込んだ「洞爺湖町地域防災計画」見直しの進捗状況を伺う。 ⑤近隣市町村を避難所とする場合、避難者の振り分けとその際の避難所運営について伺う。	①
8番 大久保 富士子	1 オーバーツーリズム(観光公害)の対策について 2 防災対策について	(1)訪日外国人客の増加に伴い、各地で交通混雑や観光客のマナー違反などのオーバーツーリズム(観光公害)が社会的な課題となっているが、町の認識についてお伺いします。 ①今年度(1月～8月)の訪日客数について ②オーバーツーリズムの影響について(交通・環境・騒音等) (2)政府(観光立国推進閣僚会議)が新たにオーバーツーリズムの未然防止・抑制する対策を発表した。そこで、洞爺湖町の対策についてお伺いします。 ①マナー違反行為への防止策等について (1)洞爺湖町では、有珠山噴火をはじめとして、複数の自然災害の影響が想定されていることから、町の防災・減災対策についてお伺いします。 ①防災計画改定の進捗状況について ②防災計画改定に伴う、重点項目等について ③避難所運営にあたり、重要視すべきことについて (2)災害の規模によっては長期避難も想定され、生活をする上で備蓄品の確保が重要と思われます。それらのことから、防災備蓄品の現状についてお伺いします。 ①防災備蓄計画改定の進捗状況について ②防災備蓄品に備蓄割合(対象人口に対する割合)について ③今後予定される、新たな防災備蓄品について (3)防災に対しての女性のきめ細かな視点が重要と言われている。その中で防災会議などへの意思決定の場へ女性の意見を反映していくべきと思われることから、町の見解等についてお伺いします。	②

洞爺湖町議会令和6年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
<p>2番 小林 真奈美</p>	<p>1 森林環境譲与税の有効な活用事業の取組について</p> <p>2 洞爺湖芸術館の今後のあり方について</p> <p>3 洞爺湖町の空き家対策について</p>	<p>(1)令和元年からの「森林環境譲与税活用事業」の取組について伺う。 ①事業の成果と課題について ②他自治体の参考事例について ③次年度の活用事業の取組の方向性について ④森林環境譲与税の効果的な活用としての休憩用木製ベンチ設置事業について</p> <p>(1)洞爺湖町情報公開条例について伺う。 ①洞爺湖町情報公開条例第18条について (2)洞爺湖芸術館あり方検討委員会について伺う。 ①あり方検討委員会の公開について ②あり方検討委員会のこれまでの審議内容について ③洞爺湖芸術館あり方検討委員会の答申を受けての今後の取組について (3)洞爺湖芸術館周辺の環境整備について伺う。</p> <p>(1)洞爺湖町の空き家対策について伺う。 ①「洞爺湖町空家等対策計画の進捗状況について ②空き家の実態調査等の実施について ③特定空家等に対する措置について ④町としての支援策について</p>	<p>③</p>
<p>6番 室田 崇行</p>	<p>1 持続可能な観光について</p> <p>2 環境への取り組み、連携について</p>	<p>(1)インバウンドが多く訪れる洞爺湖町において、国際基準を活用した持続可能な観光地域づくりは有効かと考えるが、町の考えは。 (2)アドベンチャーツーリズムについての取り組み状況、今後の展望について伺う。</p> <p>(1)生物多様性地域戦略策定について町の考えは。 (2)地域総合交流協定を締結している酪農学園大学との連携について伺う。</p>	<p>④</p>

洞爺湖町議会令和6年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
4番 五十嵐 篤 雄	1 労働力不足解消に向けた民間企業との協定について 2 小中一貫教育について	(1)6月会議で労働力不足に対する町としての対策を伺ったがこの事の一つと理解してもいいか。 (2)6項目を掲げて協定を締結しているが、それぞれ具体的な効果が出ると期待していいのか。 (3)スポットワーカー活用支援事業と位置付けているがどのような事業内容なのか。協定することでの当町としてのメリットは。 (4)6月の質問で各種産業毎の課題を行政としてどう捉えているか伺った。協定に際し経済4団体とのトークセッションが行われたようだが、どのような話があり、各団体の感触はどうだったのか。 (1)当町は小中一貫教育の導入を目指すとしているが今日までこの件でどのような取組みを行ったか。 (2)教育審議会や教育委員の会議において、小中一貫教育についてどんな協議がなされたのか。また、どのような意見が出されたのか。 (3)小中学校の児童生徒の保護者や教職員からの意見が寄せられていないのか。 (4)虻田中学校の虻田小学校への移転は一つのきっかけになると思うが、導入の時期を目標として定めて取組むことはできないのか。	⑤
5番 今 野 幸 子	1 国民健康保険資格証明書の廃止について	(1)保険料の滞納発生から、資格証明書が発行されるまでの期間や説明など、どのような流れで行われましたか。 (2)資格証明書を発行された方は、保険料が払えるにもかかわらず払おうとしない悪質なのか、それとも町がまだ把握しきれてない事情を抱えていたのか、どのように適切な把握が行われ、資格証明書発行を判断されたのか。 (3)町としては、国民健康保険料を非常に高すぎると捉えるか、それとも保険なのだから保険料を納めるのは当然で金額も決められた計算で出された必要な金額で高すぎるとは言えないと捉えられますか。	⑥

洞爺湖町議会令和6年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
5番 今野幸子	2 現行の健康保険証の継続について	(4)今まで引き下げられてきた国庫負担金を元に戻し、国民の負担する国民健康保険料を引き下げよう国や道に対し要望書等をあげていくべきではないか。 (5)憲法25条を守ることで命を守る、そのためにも安心して医療を受けられるよう資格証明書の発行を廃止すべきではないか。 (1)スマホやインターネット等デジタル化についてける人であれば便利な部分もあるのですが、使用した事のない人にとってはどのようなメリットがあるのでしょうか。分かっているメリットをあげて下さい。 (2)今よりもより良い医療を提供できると言われていますが、どのような提供なのか。 (3)また直近の薬や他の医療機関での診療などの情報は3週間から1か月程かかると言われていています。また、その医療内容、病名や診療行為までは分からないと言われていますが、これらもより良い医療提供につながるのか、分かる事があればお願いします。 (4)薬や医療での情報提供の同意を求められ同意した場合は全てが開示され見られたくない病名まで知られてしまうが、同意しなくともマイナ保険の意味はあるのか。 (5)マイナ保険では短期保険証の取り扱いも10割負担となるのか。 (6)改正法の中に「保険料滞納世帯主等」と書かれているが、これはどのような意味を持つのか自治体が制裁措置を行いやすくする事はないか。 (7)資格確認証の発行はいつか。また、2回目以降の申請は必要か。その有効期限は何年か。 (8)トラブルはもう起こらないと言える自信と実績ができるまで現行の保険証を継続させるべきではないか。	

洞爺湖町議会令和6年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
10番 石川 諭	1 洞爺湖町のゼロカーボンについて 2 洞爺湖町の救急車の出動状況について	<p>(1)2013年度基準年度排出量の設定値はいくらか。</p> <p>(2)2030年度排出量の46%削減した目標値はいくらか。</p> <p>(3)この計画期間はいつまでか。</p> <p>(4)2030年度まで残り6年間で46%の削減が可能なのか。</p> <p>(5)2030年、2050年度、省エネの取組みによる削減分はどれ位か。</p> <p>(6)同じく、再エネ導入による削減分はどれ位か。</p> <p>(1)救急車の出動件数が、令和元年から2年、3年にかけて減少しているがその要因は何か。</p> <p>(2)令和3年から4年、5年にかけて再び出動件数が増加しているがその要因は。</p> <p>(3)急病で出動する件数中、出動全体に占める割合は。</p> <p>(4)急病搬送者において、死亡も含め中等症以上の割合と軽症者との割合を比較してみると、入院の必要がない軽症者が意外に多いがその割合は。</p> <p>(5)軽症者の要因は何か。症状とこの要因を探って住民に公表すれば、出動の予防対策になるのでは。</p> <p>(6)冬場より夏場の方に出動件数が多い理由は何か。</p> <p>(7)近年外国人が増加しており言葉の障害が起きているので、救急専用の携帯、アプリを導入していると聞くがその効果はどうか。</p> <p>(8)三重県松坂市の事例で「救急車の有料化」とあるが、その検討は必要か。</p>	⑦

洞爺湖町議会令和6年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
9番 越前谷 邦 夫	1 未来を見据えた第2期洞爺湖町まちづくり総合計画について	(1)民間組織の日本創成会議は2050年までに消滅可能性自治体全国896自治体、道内147自治体を発表した。とりわけ洞爺湖町も消滅可能性自治体に指摘された。国は①地方は仕事をつくる。②人の流れをつくる。③結婚、出産、子育ての希望をかなえる。④魅力的な地域をつくる。この10年間の地方創生の4つの目標は妥当だったと言っているが結果的に人口の奪い合いに過ぎなかったのではないかと思う。地方創生が残した課題は何か。今後、課題解決のための取り組みの行方と財源確保の見通し等地方創生を検証、検分をしっかりと計り第2期洞爺湖町まちづくり総合計画を進めることが極めて肝要である。その手法を問う。	⑧